

取扱説明書

モテロウ 作業用踏台 アルミ 高強度

注文コード:73973638
73973647
73973656
73973665
73973674

このたびは、作業用踏台 アルミ 高強度 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。
また、いつでも取り出せる場所に必ず保管してください。



- 作業用踏台は、正しく使われていないと転倒や転落の危険があります。お使いになるときは、作業用踏台の安定した状態を確認してください。
- この取扱説明書に書かれた使い方以外の使用方法や注意事項を守らずに、事故を起こされても責任を負いかねますのでご了承ください。

1 安全にお使いいただくために

ここに書かれた注意事項は、人体への危害や財産への損害を未然に防止するための内容です。
いずれも安全にお使いいただくためには重要ですので、必ずお守りください。

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分しています。



危険 この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「死亡または重傷を負うおそれ大きい」内容です。



警告 この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。



注意 この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「けがや傷害を負うこと、製品の破損やそれに伴う財産の損害が発生するおそれがある」内容です。

次の図記号はお守り頂く内容を説明しています。



この表示は、「実行しなければならない」内容です。



この表示は、「してはいけない」内容です。

【絵表示について】

警告表示の要点が一目で理解できるように、警告ラベルの中で絵表示を使用しています。絵表示には下記の意味があります。



この表示は、感電のおそれがあることを示します。



この表示は、天板の上で爪先立ちすると、身体のバランスをくずして、転倒する危険があることを示します。

ご使用上の注意

【はじめに】 誤った使用方法により人的傷害や製品の破損、その他の物的損害が生じた場合、一切の補償、責任を負いません。
また、本製品の分解・改造・修理は、決して行わないでください。



設置するときや持ち運ぶときは、配電線や電源コードなどに引っ掛けないよう注意する。
この製品は電気を通しますので、感電による重大な事故につながる危険がある。



天板や踏板の端に乗ったり、爪先立ちや片足で立たない。
バランスをくずして、転倒や転落の危険がある。踏板に乗るときは、身体が作業用踏台の中央になる位置に乗る。



本体表示ラベルでの最大使用質量の範囲内で使用する。

体重と荷物の合計質量が、最大使用質量を超えるとときは、使用しない。また、荷物はバランスが保てる程度の大きさや重さで使用する。



使う前に必ず「2.ご使用前の点検」を行い、異常がないか確認する。

異常のあるときは、絶対に使わない。重大な事故につながるおそれがある。



作業用踏台としての用途以外の使い方をしない。

この製品は、高いところで作業するための足場として作られた「作業用踏台」です。使い方を誤ったり、用途以外の使い方をしますと、転倒や転落による重大な事故のおそれがある。



作業用踏台を加工や改造しない。
重大な事故を起こすおそれがある。



子供や取扱説明書・警告ラベルの内容が理解できない人には使用させない。

取扱説明書や警告ラベルには、安全に使用する上で特に重要なことが書かれていますので、内容が理解できない人が使うと、重大な事故につながるおそれがある。

-  **変形した作業用踏台を使わない。**
この製品はアルミ製です。曲がったアルミ材は曲げ直すと強度が著しく低下します。したがって、変形した製品を修理して使いますと、折れたり曲がったりして、重大な事故の原因になる。
-  **作業用踏台が滑りやすい位置には設置しない。**
設置場所が下記の状態では、転倒や転落のおそれがある。
●滑りやすいビニール製の床・タイル・鉄板の上。●積雪や凍結している場所。●砂・ごみ・ほこり・落葉などで滑りやすい場所。
●濡れている場所。●その他、滑りやすい場所。
-  **作業用踏台が安定しない場所に設置しない。**
設置場所が下記の状態では、作業用踏台が傾いて転倒や転落のおそれがある。
●やわらかい床や地面。●段差があったり、凹凸があつて安定しない場所。●作業用踏台がガタツク場所。●傾斜している地面や床、屋根の上。
●積雪している場所。●その他、安定しない場所。
-  **雨の中や風の強い場所に設置しない。**
濡れた踏板で滑ったり、強い風を受けて身体のバランスをくずして、転倒や転落のおそれがある。
-  **足元や周囲がはっきり見えない暗がりには設置しない。**
足を踏み外したり、周囲の危険な物に気付かないことが原因で、転倒や転落のおそれがある。
-  **人の出入口やドアの前に設置しない。**
出入りする人や開けたドアで、作業用踏台が倒されて転倒や転落のおそれがある。
-  **作業用踏台から身体を乗り出さない。**
身体を乗り出すとバランスをくずして、転倒や転落のおそれがある。
-  **使用中、作業用踏台の上で壁や物を無理に押ししたり、引いたりしない。**
無理に押ししたり、引いたりすると反動で作業用踏台が不安定になり、転倒や転落のおそれがある。
-  **同時に2人以上乗らない。**
作業用踏台が不安定になり、転倒や転落のおそれがある。
-  **身体の安定が得られないような荷物を持って、昇り降りしない。**
バランスをくずして、転倒や転落のおそれがある。そのような荷物があるときは補助者が荷物を手渡す。
-  **作業用踏台を背にして、昇り降りしない。**
身体が不安定となり、転倒や転落のおそれがある。
-  **補強パイプやツナギ材に足を乗せたり、体重を掛けたりしない。**
足が滑ったり、補強パイプやツナギ材が破損し転倒や事故のおそれがある。
-  **二つの作業用踏台の間に板をかけて、足場などに使わない。**
踏板などが破損したり、作業用踏台が不安定になって転倒や転落のおそれがある。
-  **作業用踏台を高くするために、作業用踏台にパイプや木などをつないだり、台や箱の上に寄せたりしない。**
つなぎ目が折れたり、台や箱が移動などして、転倒や転落のおそれがある。
-  **天板が水平にならない場所には、設置しない。**
安定が確保できないため、転倒や転落のおそれがある。
-  **天板の上に台や物を置いて使わない。**
台や物の上で滑って、転倒や転落のおそれがあります。

注意

-  **使用に適した服装で使う。**
昇り降りや作業中に、製品に引っ掛かったり、すそを踏みつけるおそれのある服装で使用しない。
-  **この製品を人に貸すときは、取扱説明書も共に貸す。**
取扱説明書には、安全に使用する上で特に重要なことが書かれていますので、よくご理解のうえ使うように指導をする。
-  **身体が下記の状態のときは、使わないでください。**
身体のバランスが保てず、転倒や転落のおそれがある。
●疲れているとき。●薬やお酒を飲んだとき。●病氣や妊娠しているとき。●身体に異常を感じるとき。
-  **貼り付けてあるラベルが無くなったり、読めなくなった製品は使わない。**
必ず弊社から新しいラベルを取り寄せ、正しい位置に貼り、内容を理解してから使う。
※ラベルを取り寄せるときは、ラベルのナンバーをご連絡ください。(ラベルナンバーは「4.各部の名称」をご参照ください。)
-  **トラックなどにロープで固定するときは、ロープを激しく引っ張らない。**
製品に亀裂が入り、使用中に折れて転倒するおそれがある。
-  **持ち運ぶときは、引きずったり、投げたり、乱暴に扱わない。**
乱暴に扱うと、変形やへこみ・破損の原因になる。
-  **周囲に危険なものがある場所や頭上に障害物のある場所には設置しない。**
転倒や転落のおそれがある。
-  **作業用踏台は慎重に昇り降りし、飛び乗りや飛び降りしない。**
傷害事故のおそれがある。降りるときは、最下段の踏板まで使って慎重に行う。

2 ご使用前の点検

作業用踏台をお使いになる前には、下記の点検を行い、異常のないことを確認してください。
また、異常に対して処置のできるものは、正しい処置をした後に使用してください。

1.目で見て、下記の点を点検をしてください。

- 踏板に天板にグリース・油・泥・雪・水・ペンキなど、滑りやすいものが付いていないか確認してください。
付いている場合はきれいに拭き取ってください。
- サイドパネルに曲がり・ねじれ・へこみがありませんか。ある場合は、絶対に使わないで破棄してください。
- 踏板に曲がりや割れがありませんか。ある場合は、絶対に使わないで破棄してください。
- 各部の接合部に割れやいちじるしい腐食がありませんか。また、取り付け部品の破損・脱落・変形・磨耗・いちじるしい腐食がありませんか。
ある場合は、絶対に使わないで廃棄してください。
- リベット・ねじ・ピンなどのゆるみや抜け落ちがありませんか。ある場合は、絶対に使わないで廃棄してください。
- ボルト接合部に緩みはありませんか。ある場合は、ボルトを締め直してください。

2.下記の箇所を触って点検をしてください。

- 踏板やフレーム枠をねじってみて、ガタツキがないか点検してください。ガタツキがある場合は、「7.不調診断」に従い処置してください。

3 作業用踏台の使い方

設置場所について

- 平坦で安定した場所、滑りにくい場所、また作業用踏台が埋もれない場所を選んで設置してください。
- 雨や水の掛からない場所、強い風を受けない場所に設置してください。
- 作業用踏台の周囲に危険な物がなく、バランスの良い作業姿勢で使える位置に設置してください。
- 設置後は、作業用踏台にガタツキがないか確認し、ある場合は作業用踏台の位置を移動してガタツキを取り除いてください。

昇りかた・降りかた・作業のしかた

- 運動靴などの滑りにくいはき物をはいてください。
- 身体の全面を作業用踏台の昇降面に向けて慎重に昇り降りしてください。
- 降りるときは、飛び降りずに1段ずつ踏板に足を掛け、最下段の踏板まで使って慎重に降りてください。
- 作業するときは、身体が作業用踏台から乗り出さないようにしてください。
- 最上段の踏板に乗るときは中央部分に乗ってください。

移動のしかた

- ① 踏板または、背面パネル、サイドパネルの支柱を両手でしっかりと持ってください。
- ② 作業用踏台の踏板が平行になるように静かに持ち上げてください。
- ③ ②の状態では慎重に移動させてください。

⚠注意

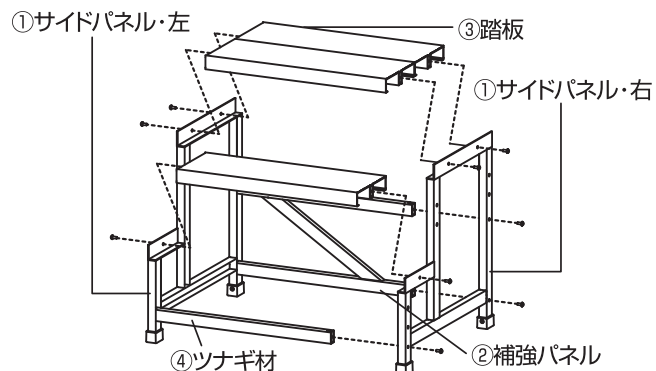
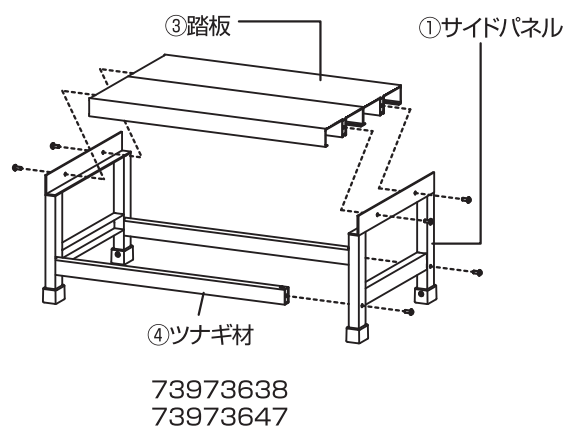
作業用踏台が重い場合は、必ず2人以上で移動させください。

注文コード:73973674

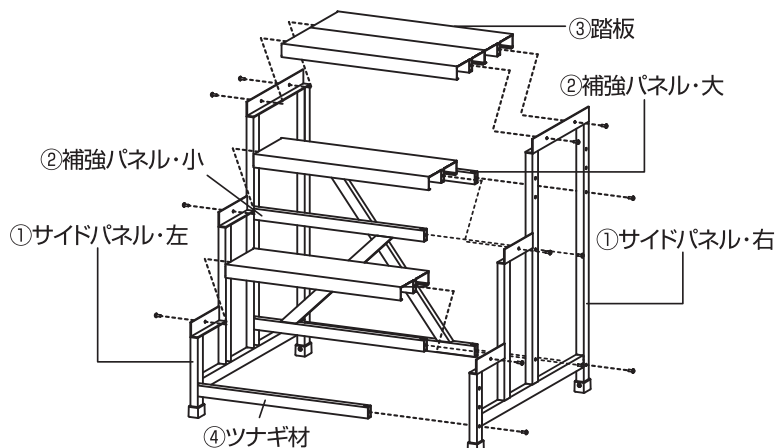


- サイドパネルが『左右共通』の製品もあります。(「5.構成部品」をご参照ください。)
- ラベルを貼り付けてある部品はラベルが見える位置に配置してください。
- ラベルのデザインは表記のものから予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。
- ラベルナンバーの末尾「- Q」は、改訂ナンバーを表しています。

注文コード		73973638 73973647	73973656 73973665	73973674
部品				
①サイドパネル	右 左	2 (左右共通)	1 1	1 1
②補強パネル	大 小	0	1	1 1
③踏板		2	3	4
④ツナギ材		2	1	1
⑤座金組込ボルト		8	12	18



73973656
73973665



73973674
(補強パネルの取り付け向き注意)

6 組立方法



アルミの切断面が露出した部分が含まれています。切断面は鋭利なため、ケガをしないように注意してください。
必要に応じて作業手袋の着用をお勧めいたします。

【必要工具】L型レンチ(付属品)

【はじめに】●梱包箱から部品を取り出し、「5.構成部品」の部品が全てそろっているか確認してください。

●取り出した部品が傷付かないように、ダンボール等の上に置いてください。

●サイドパネルに部品を取り付けた状態は不安定になりますので、2人以上で作業してください。

組立手順

「注文コード:73973665」の組立方法で説明しています。

その他の機種も同様に組み立ててください。(部品の仕様が異なるため、「5.構成部品」と合わせてご確認ください。)

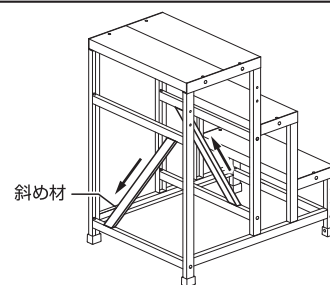
- A. ①サイドパネルを立てた状態で手で押さえ、
②補強パネルと④ツナギ材を
⑤座金組込ボルトで仮締めします。

①サイドパネル・左
(左右共通の製品もあります)

②補強パネル※

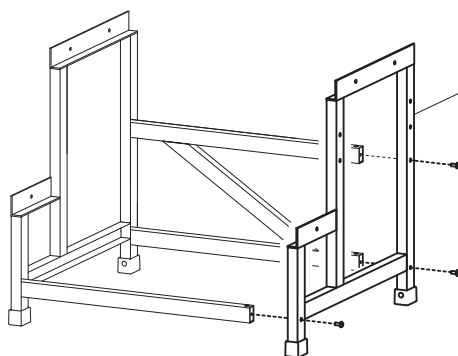
⑤座金組込ボルト

④ツナギ材



※補強パネルが2枚の場合
図のように「斜め材が互い違い」になるように取り付けます。

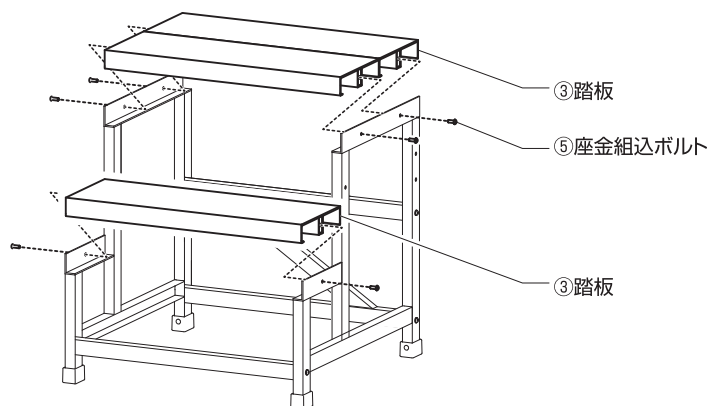
- B. もう片方の①サイドパネルを
⑤座金組込ボルトで仮締めします。



①サイドパネル・右
(左右共通の製品もあります)

⑤座金組込ボルト

- C. ③踏板を乗せて、
⑤座金組込ボルトで仮締めします。

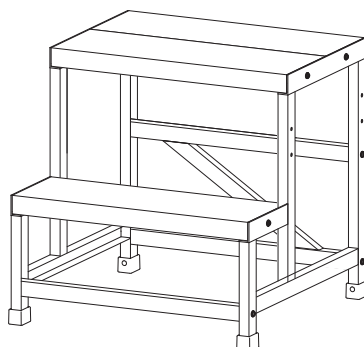


③踏板

⑤座金組込ボルト

③踏板

- D. 部品が定位置に正しく固定されているか
を確認し、すべてのボルトをしっかり締め
付けます。



【組み立て後】 作業用踏台を軽くゆすって、ガタツキなどの異常がないかを確認してください。

7 故障かな?と思ったら(不調診断)

現象	点検する箇所	処置のしかた
●使ったときに、グラグラする。 ●買ったときより、ねじれが大きい。 ●持ち運びや使用中に、 作業用踏台がギシギシ鳴る。	サイドパネルと踏板の接合部に、 ゆるみやガタツキがありませんか。	取り付けボルトが緩んだり、外れたりしていませんか。 緩んだり、外れたりしている場合は締め直してください。 それでも直らない場合は、使わないで、廃棄してください。
	溶接部に割れはありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。
●設置面が水平であるのに、 ガタガタする。	脚部が曲がっていませんか。 特に下部に曲がりやねじれがありませんか。	曲がっている場合は、使わないで廃棄してください。
	滑り止めキャップが外れたり、 すり減ったりしていませんか。	外れたり、すり減ったりしている場合は、 使わないでください。(弊社までご相談ください。)

警告



製品に異常があった場合、自分の判断で、手直しや補修は絶対にしないでください。
一度変形した本体や金具は、いちじるしく強度が落ちており、手直ししても本体や金具の破損が起こり、転倒や転落による人身事故の原因になります。

滑り止めキャップ(支柱端具)の外しかた

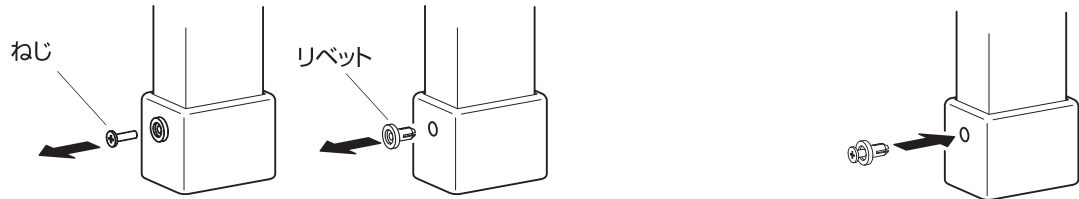


アルミの切断面が露出した部分が含まれています。切断面は鋭利なため、ケガをしないように注意してください。
必要に応じて作業手袋の着用をお勧めいたします。

【必要工具】 プラスドライバー(お客様でご用意ください。)

- 【はじめに】 ●本製品の滑り止めキャップ(支柱端具)はお客様にて交換できる構造になっています。
- 交換するときは下記の手順に従い、滑り止めキャップ(支柱端具)を固定している樹脂製のねじリベットを取り外してください。
 - 滑り止めキャップ(支柱端具) 1個当たり、1ヶ所のねじリベットで固定しています。

- ① プラスドライバーでねじリベット中心のねじを緩めて抜き取った後、
リベット部を取り除きます。
- ③ 新しいねじリベットを滑り止めキャップ(支柱端具)の穴に差し込み
ます。そのとき、ねじ部を押さないように注意してください。



- ② 滑り止めキャップ(支柱端具)を取り外し、新しいものと交換します。
- ④ ねじ部を奥までしっかり押し込みます。



【取り付け後】 滑り止めキャップ(支柱端具)が確実に固定されていることを確認してください。